



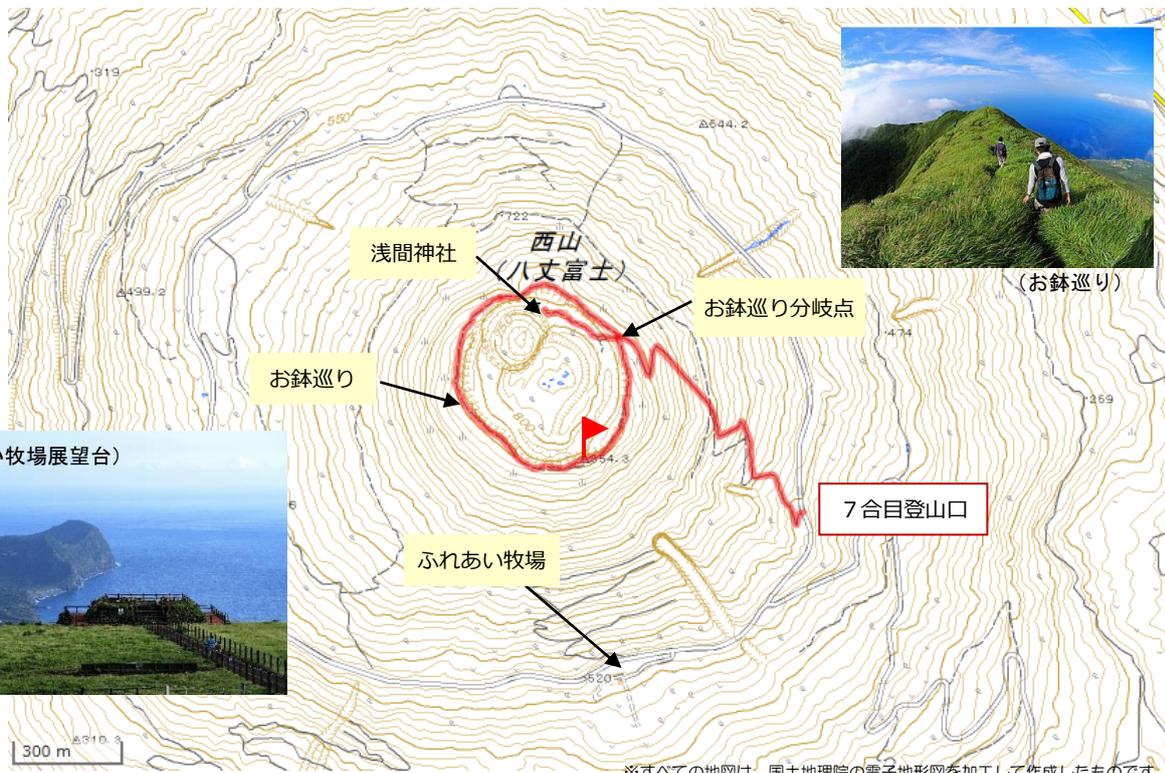
東京諸島最高峰から望む 360 度の絶景お鉢巡り

はちじょうふじ

八丈富士

854m

- 距離：1km（7合目登山口～分岐点から南回り～山頂）、お鉢巡り 1 周約 1.6km
- 歩行時間：約 1 時間 20 分（7合目登山口～分岐点～山頂）、お鉢巡り 1 周約 1 時間 10 分



(お鉢巡り)



(ふれあい牧場展望台)

※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

八丈島の北西部を占める山で、東の三原山に対して「西山」と呼ばれる。東京諸島の中では最も高い。

1605年の噴火後、活動を停止しているが、火口は直径400m深さ50m、さらに火口底には中央火口丘がある二重式火山である。裾野が大きいのにびた優雅な姿は、八丈島を代表する美しさのひとつである。

火口丘を一周するお鉢巡りでは、山の下には太平洋の綺麗な海、火口の中はジャングルを思わせる深い森や池、また浅間神社を見ることができる。

東京都にいるとは思えない、大自然が作り出すダイナミックな絶景が楽しめる。

* 登山道：

- ・7合目登山口からお鉢巡りスタートポイント（分岐点）までは階段で分かれ道もないため、登山経験がなくても登山が可能。ただし、お鉢巡りは多少危険部分があるため、ガイド付き登山を推奨。

* 注意点／アドバイス：

- ・ガレ場、足元に岩がむき出しで滑りやすい場所あり。
- ・ストックを使う場合は草木を荒らさないよう注意。
- ・強風の場合、お鉢巡りは危険なため中止すること。
- ・天候が変わりやすく、強風、濃霧、雨の日が多いため、適期であっても天候の確認が必要。
- ・気温は東京とさほど変わらないため、防寒・雨対策は必須。

* 登山口までのアクセス：

- ・空港から7合目にある登山口（周回道路内）まで車で約20分（徒歩では富士縦断林道経由で約2時間30分）、底土港から車で30分（徒歩約2時間30分）。
- ・登山口までは車（レンタカー）もしくはタクシー推奨。

* 関連行事・イベント：

- ・八丈島一周&八丈富士エコ・ジャーニーマラソン（5月）

* 周辺情報：

- ・周回道路（鉢巻き道路）沿いにある「ふれあい牧場」に、市街地を一望する展望台、飲料自販機、トイレがある。

■ 島のプロフィール

周囲は好漁場。フリージアをはじめ花卉園芸作物の生産が盛ん。地熱や風力発電など自然エネルギー利用の先進地。

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせず頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。